

経営者の皆様に、次への視野(スコープ)を。  
毎月、かんぽ生命がお届けします。

# かんぽスコープ

Vol.111

## 経営時流

### 擦り合わせを、心にも。 外国人材の採用に向け、企業の風土を変える。



「受け入れには下地づくりが大切」と語る藤井氏。

経済のグローバル化が進む中、国際競争力を高めようと、政府は専門的・技術的分野の外国人材の就労促進に力を入れています。高度人材ポ

イント制<sup>※</sup>が代表的な政策ですが、中小企業への浸透はまだこれから。受け入れられる企業側に壁があるためといわれます。そこで今回は、この壁を内側から崩そうと、経済産業省の「国際化促進インターンシップ事業」に参加した五洲薬品株式会社の事例を紹介。海外からのインターン生を受け入れた経験について、藤井社長に伺いました。

#### 技術開発力を強みに、 独自の商品を開発。

年配の方なら、薬用入浴剤「パパヤ桃源」の会社と聞けばピンとくるだろう。1946年創業の五洲薬品は、「300近くある富山の薬メーカーの中で、独自のことをしな

ければ生き残れない」と、いち早く医薬品の周辺分野に進出。以後、立山連峰のミネラルウォーター、富山湾の海洋深層水を活用した機能性飲料・食品・化粧品など、地域資源をフルに生かした商品を展開。近年は、海洋深層水の分離加工技術を応用したiPS細胞の培養液の開発に乗り出すなど、技術力と特許戦略を強みに業容を拡大している。

だが、「縮小する国内市場だけでは、これから厳しい」との危機感から、10年頃から海外進出を模索。展示会で関心を示したタイの企業と協力関係を築きながら、成長著しいアジアに乗り出す布石を打ってきた。この過程で、帰化者や元留学生など海外出身の人材を採用。社内は徐々に国際化していった。

「でも、これらの人々は日本語が話せませんし、日本の生活習慣や文化になじんでいません。そういう素地のない人と本格的に交わる経験を積むために、この事業に応募したのです」

#### 心の壁が少し低く なったのが、最大の収穫。

そして17年にインターン生としてやって来たのが、ホーチミン医科

薬科大学・薬学部のリ・グエン・カイン・ホア氏。ベトナムの医薬系大学、最高峰の学生だ。

「ちょうどベトナム進出を準備していたときで、現地の生きた情報が得られるとの期待もありました」

そこでグエン氏には、ベトナム向け新商品の開発に参加を要請。社内や現地パートナー企業との会議出席し、商品内容、デザイン、価格設定などへ意見を出してもらった。また、ベトナムでの競合商品、原材料や表示などの法規制、薬事上の申請方法について調査してもらった。

「おかげで商品化へのプロセスを一気に短縮できたわけですが、やはり現地の感覚、習慣、社会を知り、かつ高度な専門知識をもつ人材は違うなど、再認識しました」

一方、グエン氏は同社の研究所で実験・分析などの業務を学ぶと



美容関連のアジア最大級の見本市、コスモプロフェッショナルに毎年参加している。



開発会議で意見を述べるグエン氏(右から3人目)。

ともに、工場での作業も体験。そこでも率直な意見を聞いた。「考え方の相違はありましたね。日本は職務が細分化・専門化されてなく、非効率だと言っただけです。でも、そこが助け合いの精神と暗黙知が生きる日本の現場の良いところだと説明しました。ただし、合理的な思考回路をもつ外国人材に活躍してもらうためには、業務のマニュアル化が大切になることは痛感しました」

日本語がまったく話せないグエン氏とのコミュニケーションは、もっぱら英語。社員には英語に対するアレルギーがあり、また、考え方の根本が違うからと、最初はよそよそしいムードが漂っていたという。

「それでも話しているうちに、人と人、伝えようとするれば伝わるんだと、次第に分かってきたようです。心の壁が少し低くなったことが、実は最大の収穫かもしれません」

五洲薬品株式会社  
〒939-8201 富山県富山市花園町1-1-5  
☎076-424-2661 <http://www.goshu.co.jp/>

※学術研究、専門・技術、経営・管理の活動類型で、基準以上のポイントをもつ高度外国人材が出入国管理上の優遇措置を受けられる制度。2015年4月1日からスタート。

また、グエン氏の帰国後、同社の工場で5人のベトナム人技能実習生が業務につく予定になっていた。そこで、寮のルールづくりなどにグエン氏のアドバイスを求め、受け入れの体制を整えた。

## 新たな海外人材を獲得。本格的な海外進出へ。

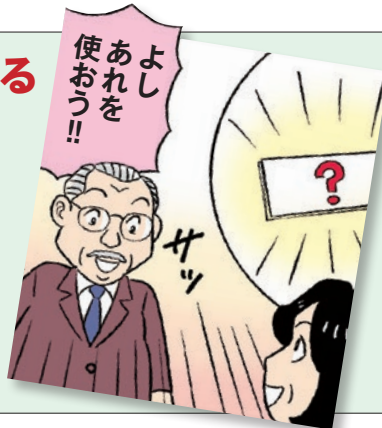
これから外国人材を採用しようとする企業にとって、インターン生の受け入れは良いウォーミングアップになるが、「国際化促進インターンシップ事業」は採択数が限られる。東京、名古屋、大阪、福岡では、外国人雇用サービスセンターなどで国内留学生のインターンシップ支援が行われており、また、自治体や大学が実施しているものもあるので、関心のある企業は調べて活用したい。

同社では、今年(19年)、タイの企業と合弁会社を設立し、東南アジアへの商品展開を本格的に開始する。グエン氏が開発に関わった商品も、ベトナムのコンビニなどに並ぶ予定だ。それに合わせ、社内では3人の国内留学生を採用するなど、外国人材の受け入れを加速している。

「いつかは、外国人材が社員の半数を占めるようになるのではないかと予想しています。その人たちが活躍できる環境を整備するとともに、海外へ出て仕事をしたいというチャレンジ精神をもつ日本人社員が生まれる風土を育みたいですね」

## 採用活動に、思い切って使える 余裕資金を備えていますか。

採用とは、会社の将来を託す人材の獲得。優秀な人材を獲得しようと、採用市場では、各社がしのぎを削っています。採用活動を積極的に、かつ用意周到に行うための資金準備について考えましょう。



ぜひ  
ご覧ください

マンガで楽しく、  
分かりやすく  
ご案内しています。

かんぽビジネスライブラリ  
「採用資金に活用」の巻



## 資料をご要望の皆さまへ

ご覧の資料をお届けします。  
ご要望の方は、お手数ですが、かんぽ生命保険の  
[最寄りの支店](#)までご連絡ください。



## 血管を鍛える! 高血圧予防に、まずは減塩



文=島田和幸

新小山市市民病院理事長・病院長。医学博士。血管病予防の第一人者。著書は『血管を内側から強くする55の秘訣』など多数。

**血液中のナトリウム濃度の上昇が悪影響**  
前回、血管の健康維持には内皮細胞を傷つけないことが大事という話をしました。そのための第一歩が、高血圧の予防です。

そもそも血圧とは、血液が流れるときに血管壁に加わる圧力のこと。いわゆる上の血圧は心臓が収縮して血液を送り出したときの血圧(収縮期血圧)、下の血圧は心臓が拡張して血液が戻ってきたときの血圧(拡張期血圧)です。診断基準では、上が140mmHg以上、下が90mmHg以上になると高血圧とされます。

健康な人が高血圧になる原因の代表が過剰な塩分摂取です。塩分を取り過ぎると血液中のナトリウム濃度が上昇し、浸透圧を一定に保とうとして水分が増え、結果的に血液量が増えます。すると、心臓が1

回当たり押し出す血液量が多くなり、血管壁にかかる圧力も高くなるのです。

また、ナトリウム濃度が高いと、血管壁にナトリウムが入り、動脈硬化が進む要因にもなります。減塩こそが、強い血管を維持する重要なポイントなのです。

### カリウムを摂取して、塩分をデトックス

料理に塩気がきいてないとおいしくなくなると思いがちですが、工夫すれば不満を感じることはありません。例えば、うま味成分がたっぷり含まれた天然だしを使えば、塩分控えめでもおいしく、むしろ薄味のほうが引き立ちます。酸味や辛味、香りを強くするのも、薄味を補う良い方法です。また、食材を大きめにカットし、表面だけに味付けをすれば味が薄いと感じにくくなります。

塩分を取り過ぎたと思ったら、ナトリウ

ムの排出を促すカリウムを摂取することも有効です。ホウレンソウやバナナ、納豆、ヒジキ、ドライフルーツなどに多く含まれるので、カロリーオーバーに気をつけながら積極的に摂取しましょう。ただし、腎機能が低下している人は、高カリウム血症を招く恐れがあるので注意してください。

### カリウムの含有量が多い食材

カリウムは自然食材の多くに含まれます。腎臓病の方以外は、積極的に摂取しましょう。ゆでたり、水にさらしたりすると、溶け出しやすいため、食べ方の工夫は必要です。

|        |                                       |
|--------|---------------------------------------|
| 野菜類    | ホウレンソウ、里芋、小松菜、山芋、タケノコ、シイタケ            |
| 果物類    | バナナ、アボカド、キウイ、リンゴ、サクランボ、プルーンなどのドライフルーツ |
| 豆類     | 大豆、納豆、枝豆、落花生                          |
| 魚介・海藻類 | サワラ、カンパチ、タイ、ヒラメ、昆布、ワカメ、ヒジキ            |

(注)

記事中に記載の法令や制度等は取材当時のもので、将来変更されることがあります。詳細につきましては、各専門家にご相談いただきますようお願いいたします。

Copyright © 2019 JAPAN POST INSURANCE Co.,Ltd All Rights Reserved.

(2019.3.1)